

講義名称	日本経済論	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	SOC123

授業のキーワード	国民所得、物価、日本銀行、外国為替、失業と働き方
授業の概要	この授業では、はじめて経済学を勉強する人を対象としてニュースや新聞で扱われる日本経済の理解を目標とします。経済関連科目を受講する人は必ず履修をする必要があります。
期待される学習成果 (目標)	1. 経済学の考え方をを用いて、日本の経済について理解できる。 2. 入門の経済学に使う基本的な用語の理解と説明ができる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業の概要と、日本経済論とはどのような学問であるのかについて解説をします。
2	国民所得とは (1)	ある国が経済的に豊かであるとは。
3	国民所得とは (2)	国民所得の見方について
4	物価とは (1)	インフレやデフレとは何か。
5	物価とは (2)	物価の変化と経済への影響
6	物価とは (3)	物価の変化と貨幣価値
7	金融システムを理解する (1)	貨幣とは何か。貨幣の役割とは。
8	金融システムを理解する (2)	銀行とは何か。銀行の役割とは。
9	金融システムを理解する (3)	日本銀行とは。日本銀行の役割とは。
10	金融システムを理解する (4)	マネースtock、ベースマネーとは何か。
11	外国為替とは (1)	外国為替とは何か。円・ドルレートの仕組みとは。
12	外国為替とは (2)	外国為替の変化と貿易への影響は。
13	人と組織の経済学 (1)	日本企業の雇用慣行とは。
14	人と組織の経済学 (2)	労働市場の見方、失業率とは何か。
15	まとめ	この授業で開設した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
授業時間外学習	授業にて作成したノートに基づいて参考文献等を読み直し、講義内容を整理することが望ましい。
評価方法	授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点により評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	伊藤元重『経済を見つ3つの目』日経文庫 日本経済新聞社 編 『身近な疑問が解ける 経済学』日経文庫 原田泰『日本経済論』新世社